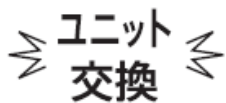


## ●プラズマクラスターイオン発生ユニットの交換

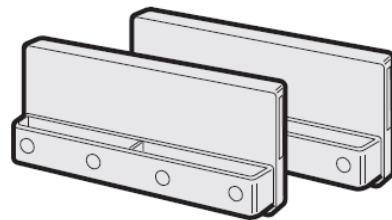


●ユニット交換ランプが点滅したときは、プラズマクラスターイオン発生ユニットの交換が必要です。

プラズマクラスターイオン発生ユニット

形名：IZ-C75SB2 (2個入)

**必ず同時に2個交換してください。**



この商品は、安定して高濃度プラズマクラスターイオンを放出するために、定期的\*にプラズマクラスターイオン発生ユニットの交換が必要です。

総運転時間約17,500時間(1日24時間連続使用して運転した場合、約2年)経過すると、本体表示部ユニット交換ランプが点滅し、交換時期をお知らせします。

約19,000時間(約2年2カ月)経過すると、プラズマクラスターイオン発生ユニットの運転が停止し、本体表示部のユニット交換ランプが速い点滅をします。

(送風機構は停止しません。空気清浄機としては継続してご使用いただけます)

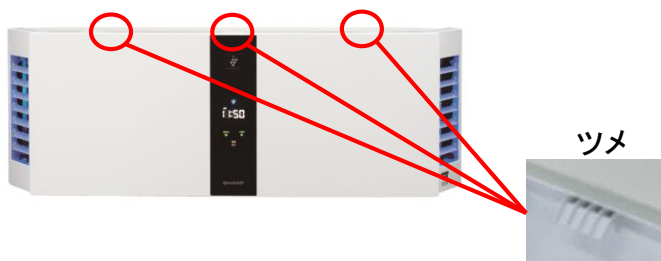
\*どの運転モードで運転しても、ユニットの交換時期は同じです。

- 交換後、組み立てを行なうときは、ネジを元通りに締め付けてください。  
また、リード線のかみこみが無いか、コネクタ挿入が確実か確認してください。
- 組立後は、動作確認をおこない、振動・運転音等の異常がないか確認してください。
- 交換した古いプラズマクラスターイオン発生ユニットは燃えないゴミとして廃棄してください。  
(廃棄物の分別ルールがある地域においては、そのルールに従ってください。)

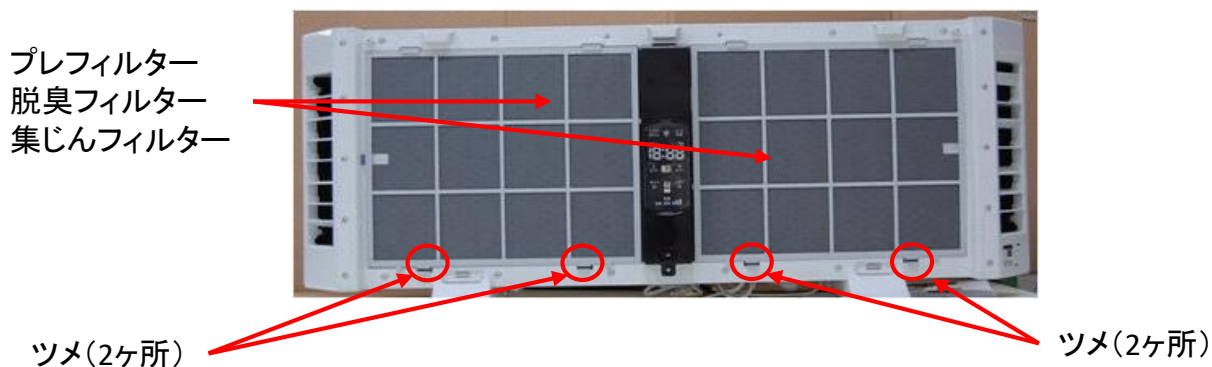
# 交換のしかた

**警告：修理・分解する前に、差込プラグをコンセントから抜くこと(感電の恐れあり)。**

1. 本体を壁から取りはずす。(壁かけで使用している場合)
2. 前パネルを取りはずす。
  - 1) 前パネルの下部を持ち上げながら取り外す。(上部に3ヶ所ツメあり)

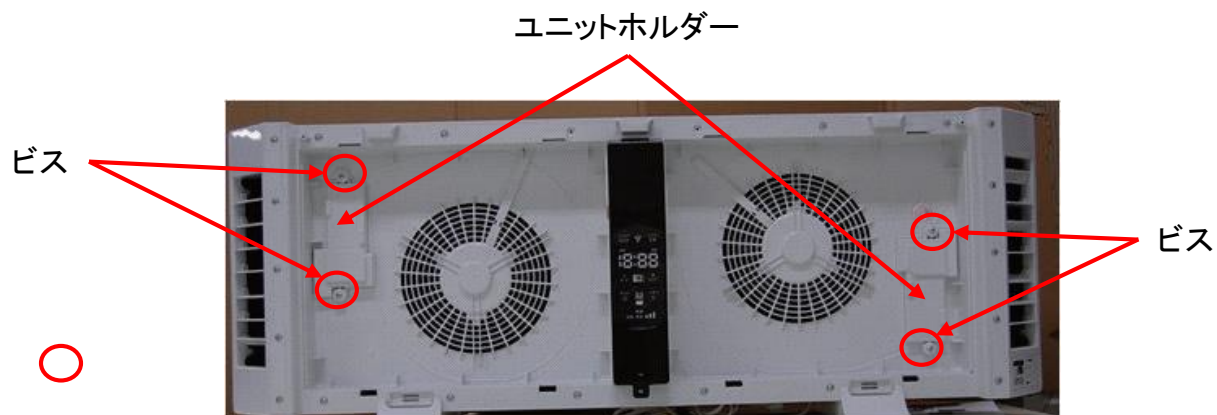


3. プレフィルター、脱臭フィルター、集じんフィルター(左右1枚ずつ)を取りはずす。
  - 1) プレフィルターを取り外し(ツメ各2ヶ所)、脱臭フィルター、集じんフィルターを取りはずす。

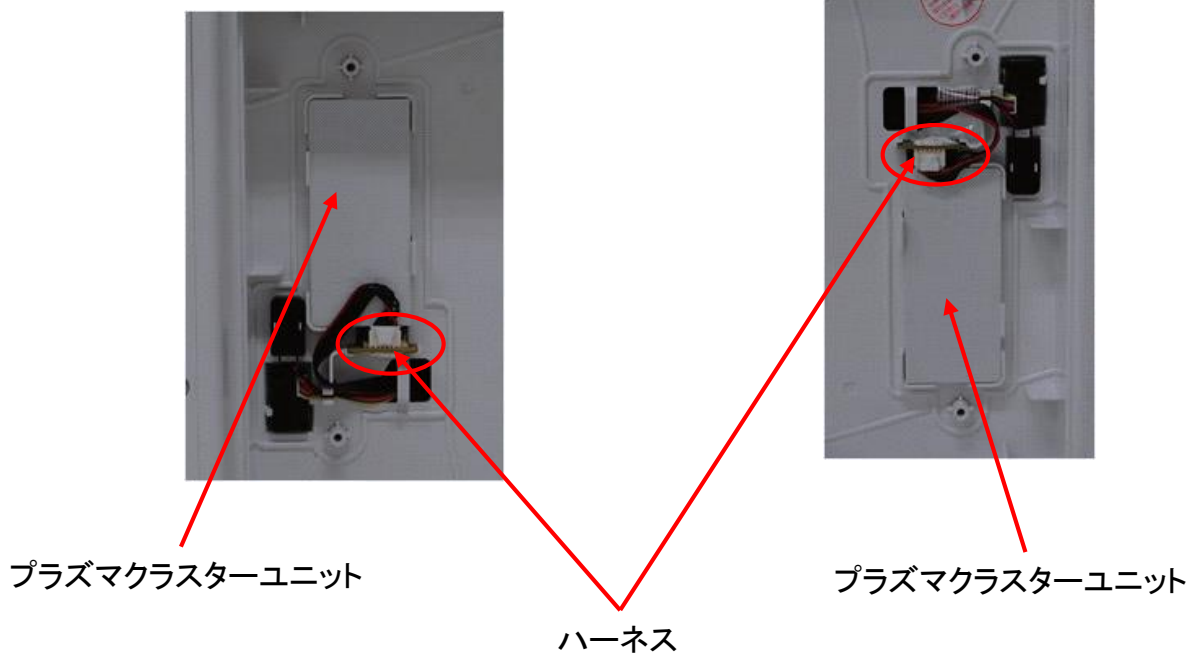


## 4. プラズマクラスターユニットを取り外す。

1) 左右部のユニットホルダー×2を取り外す。(ビス各2ヶ所)



2) ハーネスを外して、プラズマクラスターイオン発生ユニットを取りだして、新しいユニットと交換する。(左右2カ所)



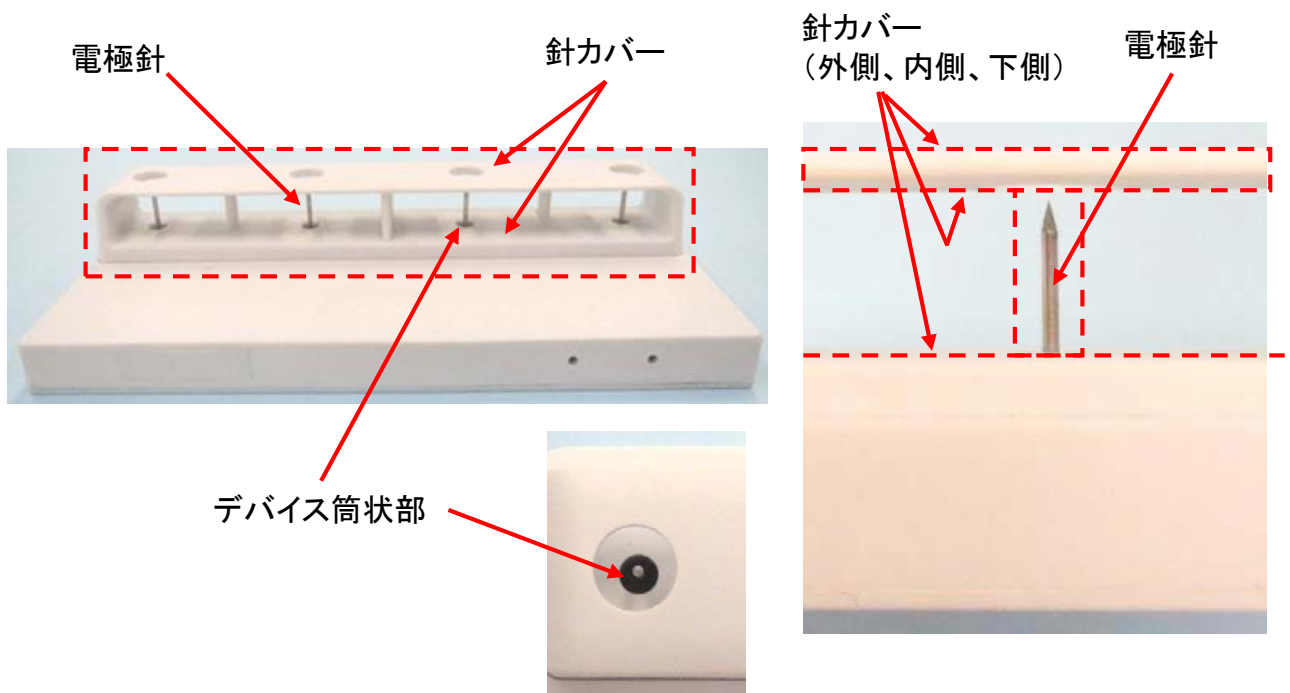
## ●プラズマクラスターイオン発生ユニット (針電極を含む電極部周辺)の清掃

お手入れ実施の目安 : 6ヶ月に1回

※ユニットお手入れランプが点滅した  
時も清掃を行ってください。

### ・清掃箇所

電極針および周囲(針カバー、デバイス筒状部)の清掃を行ってください。



### 注意事項

- 電極針を素手で触らない。(ケガのおそれ)
- 電極針を変形させないようにする。(故障の原因)
- 接続端子には触れない。(故障の原因)

### 準備するもの

- 市販のベビー用綿棒  
(清掃を確実かつ容易にするため、細軸タイプのベビー用綿棒が望ましい)
- アルコール(エタノール)
- 清掃ブラシ

綿棒(一般)



推奨)ベビー綿棒



清掃ブラシ

## ● プラズマクラスターイオン発生ユニットの清掃

### 1) 電極針および電極針カバーの清掃

電極針(4本全て)と電極針カバーに付着しているホコリ等の異物を、アルコール(エタノール)を染み込ませた市販の綿棒を使用して取り除いてください。

綿棒に汚れが付かないようになるまで、しっかりと清掃を行ってください。

※ 水産加工工場など、空気中に塩分が含まれる環境で使用されている場合は、上記アルコールでの清掃の前に、水(水道水で可)で湿らせた市販の綿棒を用いて清掃を行ってください。その後、上記アルコールを染み込ませた綿棒での清掃を行ってください。

(塩はアルコールに溶けないため、事前に必ず水での清掃を行ってください)

電極針先端

先端部は特に変形しないように注意する



電極針カバー外



電極針側面(針先周辺)



電極針カバー内側



電極針側面



電極針カバー下側



### 2) デバイス筒状部の清掃

デバイス筒状部(4箇所全て)に清掃ブラシを挿し込み、3周程度回転させて、ホコリや異物を取り除いてください。



(参考)清掃前後デバイス



清掃前

アルコールを  
染み込ませた  
綿棒で清掃



清掃後



アルコールを  
染み込ませた  
綿棒で清掃

